

第31回心臓病胎児診断症例報告会のお知らせ

本会は胎児診断から出生後の治療経過までをふりかえり、より質の高い医療を目指すことを目的に、2-3か月に1回開催しています。全国各地とインターネットで結び、全国どこからでも視聴できるようにしました。今回のテーマは“流出路が一つしかない心疾患—総動脈幹症とPAVSD”を取り上げます。正確な胎児診断が最も難しい心疾患であると同時に、必要とする心疾患でもあります。産科医、検査技師、助産師に加えて新生児科医、小児循環器科医、心臓外科医の方々など、一人でも多くの方々に、ご参加いただきたいと思います。この難しい疾患にみんなで挑戦していきましょう。

日時 : 2016. 3. 13 (日) 午前9時30分～午後5時

場所 : 神奈川県立こども医療センター 2階講堂

(神奈川県横浜市南区六ツ川 2-138-4)

遠隔会場 遠隔配信をご希望の方は、下記ホームページから申し込んでください

<http://supportoffice.jp/kawatakiecho/>

参加費 : 4,000円(コメディカル)、5,000円(医師) ※神奈川会場、遠隔会場とも

テーマ : 流出路が一つしかない心疾患—総動脈幹症とPAVSD

(敬称略)

9:30-10:00	胎児診断に役立つ流出路/肺動脈の発生	慶應義塾大学医学部附属病院 小児科	山岸 敬幸
10:00-11:00	胎児スクリーニングと胎児診断	東北大学大学院医学系研究科 融合医工学分野	川瀧 元良
11:00-11:15	<休憩>		
11:15-11:45	右室流出路～末梢肺動脈の胎児心エコーによる描出(遠隔ハンズオン)	東北大学大学院医学系研究科 融合医工学分野	川瀧 元良
11:45-12:45	診断・内科的治療・カテーテル治療	神奈川県立こども医療センター 循環器内科	上田 秀明
12:45-13:45	<昼食休憩>		
13:45-14:45	PTAとPAVSDの外科的治療・長期予後	京都府立医科大学附属病院 小児心臓血管外科	山岸 正明
14:45-15:15	小児病院と胎児診断	神奈川県立こども医療センター 総長	康井 制洋
15:15-15:30	<休憩>		
15:30-17:00	症例報告		
	・PA/VSD/MAPCAの一例	神奈川県立こども医療センター 循環器内科	金 基成
	・Truncus arteriosusの一例	久留米大学病院 小児科	前野 泰樹
	・Truncus arteriosus (Collet-Edward II), PFO, RAAの一例	北海道大学病院 小児科	佐々木 理
	・Truncus arteriosus+IAAの出生後診断例	中京病院 小児循環器科	西川 浩
	・Truncus arteriosus (II/A2)と胎児診断、出生後A4+IAA(B)と診断した一例	京都府立医科大学附属病院 小児循環器・腎臓科	中川 由美
	・Truncus arteriosusとの鑑別に難渋した、AA, VSD (HLHS variant)の一例	神奈川県立こども医療センター 循環器内科	金 基成

<問合せ先> Kawataki Kanagawa 胎児心エコーセミナー遠隔配信事務局

E-mail: kawatakiecho@supportoffice.jp TEL: 03-5332-3901 FAX: 03-5331-3239

有限会社ビジョンブリッジ 東京都新宿区西新宿7-7-30 小田急柏木7F